

研修会参加報告

第19回 兵庫県サッカー選手権 決勝 観戦研修会 参加報告

----- 「観戦研修会参加して」 サッカー3級審判員：岡田将太 -----

私は、8月21日に三木防災公園陸上競技場で行われた観戦研修会に参加させていただきました。

全員で33名の参加でした。今回の研修会では、Jリーグの実際の映像と兵庫県選手権決勝の観戦によるグループディスカッションが主に行われました。

午前は「タックル」ということをテーマに、Jリーグで実際にあった事象の映像を使いグループで議論しました。

各自で事前に危険なタックルとは何かということについて考えてきていたため、判断する際の考慮点に入れながら考えました。

【タックルを判断する考慮点】

1. アプローチ・・・

意図、方向、距離、スピード・強さ・足の高さ・身体のコントロール(ジャンプしている身体が宙にあるか)等

2. コンタクト・・・

どこの部分で接触、どこの部分に接触、接触の程度、接触の継続(深さ)・タイミング等

3. ダメージ(結果)・・・

強さ(膝が伸びている?)、接触された足の位置(浮いているか、立ち足か?)、両者の足の動く方向(正面同士か?)、怪我への配慮等

以上のことを総合的に判断し、相手競技者への危険の程度を判断した上で懲戒罰の決定を行う。

午後からは、兵庫県選手権決勝を観戦し、その後試合の映像を用いて、午前と同じくグループディスカッションを行いました。

テーマとしては、主審、副審の試合をコントロールする上で効果的だった点、改善すべき点、また、オフサイドの判断で良かった点、良くなかった点というのをグループでそれぞれ挙げていき、それに対して、映像を見ながらどうすべきだったかというのを全員で議論していきました。



私はこの研修会に参加して、特に2つのことを学びました。
 まず初めに、タックルの見極めという点です。試合の中で起きるタックルの反則の重大さというのは見極めることが非常に難しく、苦労しているところでもありました。しかし、映像を見ながら、グループで考慮点を考えていく中で、他の人も非常に参考になるものがたくさんあり、自分の中で少しずつ見極めるべき点の理解が深まってきました。ボールに触れているのかどうか、スピード、タイミングが遅れているのかどうかなど、再度整理し、自分が担当する試合でどれだけ正しく見極めることができるかというのをやっていきたいと思えます。

もう1つ学んだこととして、副審として主審をどうサポートしていくかということも学びました。

特にファウルサポートを行う場合、自分がファウルと思ったから旗を振るというのではなく、ファウルだけ主審が見えていないからファウルサポートをするという当たり前のことと思われるかもしれませんが、このタイミングというのが非常に大切であると感じました。

最後に、このような素晴らしい研修会に参加させていただき、ありがとうございました。

多くのことを学ぶことができ、これからの審判活動や他のところにも生かしていきたいと思えます。信頼されるレフェリーになれるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

以上

